

平成27年11月13日

岡崎市消防本部

# 岡崎市消防団 改革への提言



岡崎市議会議員井町圭孝事務所  
インターン生 加納涼 林衣理



平成 27 年 11 月 13 日

岡崎市消防本部消防長  
原田 幸夫 様

岡崎市議会議員井町圭孝議員事務所  
インターン生 加納涼 林衣理

## 提言書

私たちは議員インターンシップの活動の一環として、全国的な問題でもある『消防団』が直面している勧誘の困難さによる団員の高齢化・硬直化の問題を少しでも改善できないかと考え、消防団に対する意識調査を web アンケートを用いて実施し、主に 40 歳代以下の 100 名の方々から様々な意見をいただきました。

そのアンケートで得られた意見やデータを元にこの提言書を作成しましたので、参考にしていただければ幸いです。

### 1 消防団入団に関する問題点と提言

問題点	提言
10 代、20 代の若者は消防団のことを知らない人が多く 知る機会もない (消防団が活動していることを知らない)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 若者に対して、消防団を知ってもらう活動を実施する<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 現役消防団員が体験談や活動内容などを教える講演会を学校や会社などで実施する。</li><li>➢ 小学校の社会科の授業などで消防団見学を実施する。</li><li>➢ 大型ショッピングセンター等若者が多く集まる場所で消防団を紹介するイベントを開催する。</li></ul></li><li>● 市役所や若手消防職員による PR 活動を実施する<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 転入者や住所変更した人に対して消防団員募集要項を市役所窓口で渡す。 (募集要項にはメリット、デメリット、月の平均出動回数、受付窓口等記載)</li><li>➢ 若手の消防署職員にも消防団 PR 活動に参加してもらう。</li></ul></li><li>● 消防団活動を体験してもらう<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 実際の訓練しているところを見学および体験してもらう。</li><li>➢ 火災予防の広報等に参加してもらう。</li><li>➢ 現在実施している観閲式、技術発表会、操法大会など大学、ショッピングモール、駅などで開催前に PR する。(ポスター掲示やビラ</li></ul></li></ul>

	配り等)
忙しい、厳しい、大変、抜けられないなどマイナスなイメージが強い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際の活動頻度など知ってもらう必要がある <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 役員、一般の消防員それぞれのひと月当たりの出動回数を周知する。</li> </ul> </li> <li>● イメージアップを図る <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 消防団あらため VFD に名称変更 (Volunteer Fire Department)</li> <li>➢ 既存のメリットを大きく周知及び新たなメリット (例えば消防団員は市の施設利用割引制度、消防団員婚活応援制度など) を作っていく</li> <li>➢ 期間限定入団制度を設ける</li> <li>➢ 操法大会をやめる</li> <li>➢ ボランティアをして地域貢献したり、災害時に人を助けたいと思う人はアンケートから 95%もいるため、消防団がそのようなボランティアにより地域貢献している組織であることをもっとPRする</li> </ul> </li> </ul>

## 2 アンケートの意見から得られた、消防団勧誘に対する提言 (考察)

- 期間限定であれば消防団活動に参加しても良いと考えている人が 46%もいるため、最低 2 年間の入団 (2 年以降は 1 年更新) など、入団期間を短くする制度を設けることで入団者が増加することが考えられる。
- 10 代女性の約 73%が消防団に興味を示している。そのため、若い女性を消防団に入団させる又は消防団員の婚活支援 (行政が関与する婚活パーティーへの優先権等) を行政が積極的に行うなど消防団員のメリットを拡大させると若者の入団が増加することが考えられる。
- 同世代の若者が消防団活動しているなら一緒に活動しても良いと考えている若者は約 50%いる。このことから、消防団の勧誘には若者を起用することが効果が高いと考えられる。
- 地域の方々と交流をするのが好きな人は 71%となった。消防団の魅力の一つに地域との交流が深まることをもっと知ってもらうことが必要と考える。  
(提言の中にあるようにもっと活動が見えるようになれば良いといえる)

### 3 現役消防団員の方のお話から得られた、消防団勧誘に関する提言（考察）

- 消防団のTシャツは各地区でオリジナルなので、もっと魅力的なデザインにするのも一つのアピールポイントだと考えられる。
- 消防団に入ることのメリットとして、地域の人とのつながりがもてる、地域の情報がよく入る、世代を超えて知り合えるなどのメリットがあるので、そこをもっと重点的に若者にアピールするとよいと思われる。  
学生枠のない地区もあるので、学生でも入団できるように制度を変更し、学生向けのPR活動をすることで、学生ももっと興味を持ってもらえるのではないかと考えられる。
- サラリーマンが増えてきているので、平日の人員が確保できないので、自営業や時間に融通の訊く人に焦点を当てて、勧誘などを行っていくとよいと思われる。
- 操法大会が近づいてくると毎朝早く練習があつたりするので、そういった負担を少しでも減らしてもっと誰でも（年齢・男女問わず）入りやすいような活動にしていくとよいと考えられる。
- 現在は、中年～年配の消防団員の方が中心となっているが、若者だけを集めた消防団を一つ作り、それを宣伝に起用したり、イメージ変革に起用するとよいと思われる。

以上提言させていただきます。

今後の消防団活動に少しでも参考にしていただければ幸甚です。